（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○事業所名 | たんぽぽ長嶺 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和７年　4月　1日 | ～ | 令和8年　3月　19日 |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数）　22 | （回答者数） | 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和７年　4月　1日 | ～ | 令和8年　3月　12日 |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数）　7 | （回答者数） | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年　3月　19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 個別支援の取り組み<br>（個別支援計画書に基づいた取組、専門的支援計画に基づいた取組） | ・計画に沿って、個別課題と集団活動を組み合わせながら、日々のプログラムを調整している。<br>・短期目標の達成状況を日々の記録で確認し、必要に応じて支援方法を微調整している。 | ・日々の情報共有しながら、変化への気づき・支援の継続や変更も含め話し合い共通理解の中で支援を行う。<br>・職員の専門性向上の為、支援や障がいの知識向上に関する研修への積極的参加。<br>・定期的なアセスメントやモニタリングを行い、本人の変化を踏まえて計画を見直している。 |
| 2 | 構造化を意識した環境 | ・自ら行動できるように視覚支援で入室ルーティンやスケジュールを確認、行動ができる環境設定。<br>・児童が遊びや学びを行う上で、よりよい環境に出来るよう児童の意見も聞き取り検討。<br>・新しい児童の特性を考慮しながら、環境調整を進めていきたい。 | ・必要に応じ、環境改善の意見交換や検討しながら調整。<br>・定期的な安全対策委員の巡回の際に他事業所の環境等工夫している事の情報交換による調整。<br>・自主性が持てる工夫も常々意識しながら更新していく。 |
| 3 | 職員、事業所の雰囲気 | ・働きやすい環境（風通しのよい職場作り、企業主導型保育、事業所間交流等）<br>・遊具など子どもたちの意見を取り入れながら、準備を進めている。 | ・職員間のコミュニケーションの促進、キャリアアップの機会や自分を表現できる環境を作り、長く働ける人材の育成、定着に努める。<br>・子供や保護者に対し、傾聴や気配りを大事にし、保護者の相談に乗りやすい事業所であること。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・地域に開かれた事業運営 | ・地域の行事はイベント参加や防災訓練は精力的に参加しているが、近隣で事業所や子供たちの存在が地域に知られていないと思われる。<br>・ホームページは掲載しているが、通信、チラシ等を地域配布を行っていない。 | ・地域の公共の場を利用する際、簡単な打ち合わせでどのような学習体験をさせたいかなど、日常的にお願いする。（買い物学習など）<br>・地域の勉強会や連絡会への参加強化。 |
| 2 | ・保護者対応、関係機関連携 | ・保護者就労に伴い保護者と直接顔を合わすことが出来ない。（連絡帳では伝えにくい内容等、タイムリーに発信がしづらい）<br>・学校・関係機関との連携が限定的になりやすい。（先生との受け渡しができない等） | ・児童、保護者共に満足度の向上のために、些細な事でも職員間の情報共有をしたい。<br>・保護者交流会で、職員と保護者間の距離が縮まるような企画検討。 |
| 3 | | | |

（別紙４）

# 公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス たんぽぽ長嶺 |
|---|---|

公表日　令和　8年　3月　18日

利用児童数　25　　回収数　17

| | | チェック項目 | はい | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 16 | 1 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 15 | | 2 | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 17 | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | | | ・毎回、様々な活動を用意していただき感謝しかないです。 | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 17 | | 1 | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 17 | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 17 | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 17 | | | ・送迎時に本人が日常の中で苦手なこと等、困っていることを相談したときにうまく活動に取り入れてもらってこちらも勉強になります。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 14 | | 3 | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 17 | | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 17 | | | 連絡帳は細かいところまでたくさんの様子を描かれており読むのが楽しみです。 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 16 | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 16 | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 16 | | 1 | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 17 | | | ・いつも丁寧な療育をありがとうござい | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 17 | | | ・休みの日も行きたいと話しています。いつもありがとうございます。<br>・毎回通通所を楽しみにして、かえてきてから活動の話をしてくれます。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 17 | | | ・宿題の対応なども含め、娘に寄り添った支援をしていただいています。<br>・いつも丁寧な療育をありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 | |

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス たんぽぽ長嶺 |
|---|---|

公表日　令和　8年　3月　18日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 1 | ・学習室の机が足りないときは、長机を用意したり、静動エリアの使い分けをしたりしている。<br>・活動によって動の活動エリア、静の活動エリアに分けられていることで、より集中しやすい工夫を行っている。 | ・建物の広さや内装に基準上問題はないが、物の多さにより部屋によりスペースが狭いと感じることもあるため、必要なものと不要なものを都度整理していく必要がある。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 1 | ・送迎時に職員数不足となりやすい為、子どもの状況によっては足りないと感じるときがある。 | ・基準人員以上の指導員を配置しているが、送迎などの状況により手薄になる時間帯が生じてしまう。<br>・10人の時の対応が難しいと思う。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | ・利用者で車椅子の方はいないため、バリアフリーではないが手すりは設置している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | ・出勤後、各職員をローテーションで掃除分担を行い、毎日実施している。 | ・水回りが汚れている時があるため、定期的に清掃しているが行き届きにくい。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | | 時間・空間の構造化で、子どもたちが自主的に場所を選び、過ごすことができている。<br>・学習できる部屋、着替えをするとき、体調が悪いときなど、分けて使用できる部屋を設けている。<br>・気持ちが崩れた際の静養室利用が、周知・実行できている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・保護者評価集計シートを、職員や保護者が閲覧できるように玄関に掲示している。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・毎月1回の事業所会議にて、業務改善案の提出ができている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | ・外部評価に該当するかは分からないが、他事業所の安全対策委員会による定期巡回を実施し、チェックを受けている。それをもとに改善を行っている。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | 外部研修への参加や事業所内での勉強会の機会が確保されている。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | ・会議録でパート職員等へも周知できるような形で書類を準備している。 | ・支援会議を行っているが、全職員の参加は難しい。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 6 | 1 | ・基本的に、翌日の支援の準備を行うように心がけている。<br>・職員間で共有する際に、児童情報を基に内容を更新したりしている。 | ・計画に沿った支援の準備は事前にしているが、共有や準備が直前の場合がある。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | ・季節に合ったプログラムや室内・外出活動が均等になるよう工夫している。<br>・集団活動でも体を動かす活動と座って活動する内容のバランスを取っている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | ・基本的に毎日個別活動を行い、必要に応じて休校日にも個別活動を行っている。<br>・集団活動については、ご家族にも周知する形で毎月お知らせし、組み合わせて行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | 子どもたちの来所前に、その日の個別活動・集団活動の目標・役割を職員間で共有している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 7 | | 子どもたちの様子や支援での気づきを、毎回振り返る時間を設け共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | ・記憶が薄れないよう、その日のうち、または支援後すぐに記録する時間を設けている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | ・就学支援シートや移行シートの共有をいただき、情報共有を行うことができている。 | ・必要であれば会議への出席の場を設け、さらに共有を深められると尚良いと感じる。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | | ・就学支援シートや移行シートの共有を受け、情報共有を行うことができている。<br>・移行支援シートにはこれまで行ってきた支援内容等を保護者や次の事業所等につながるよう要望に応じ提供している。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 7 | | 東区の機関相談支援センターが主催の会合への参加を行っている。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | | ・公園での野外活動等では、地域の子どもたちと一緒に遊ぶ機会を大切にしている。<br>・熊本市での合同運動会などに積極的に参加。<br>・昨年はモルック大会を開催し、地域児童との関わりを持つことができた。 | ・気候変動による外遊びの減少により、地域児童との関わりが減ってしまっているのはいなめない |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 1 | ・子供部会の会合への参加。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | ・送迎時や連絡帳などで日頃から情報共有を行ってる。<br>・緊急性や児童への配慮で直接電話やメールでの連絡を取り合う場合もある。<br>・状況により会議の開催や相談支援をする場合もある。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | | ・研修会の情報提供をすることもあるが、実際に参加につながるケースがまだ少ない。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 7 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 7 | | ・毎年、保護者交流会を開いて交流の場を設けている。<br>・保護者同士がつながれる活動を行っている。 | ・保護者同士で悩み事や困りごとを話せるような交流関係はまだ少ないと思われる。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | ・ | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | ・月に一度の通信で行事予定等を発信している。<br>・通信は毎月配布し、ホームページへは行事後に行事の様子をお知らせすることができている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | 1 | | ・今年度、地域の児童との交流ができたが、今後も安全かつ円滑に行えるよう、準備していきたいと考えている。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | ・お薬やてんかん等の情報提供を保護者へお願いし、結果を職員間で共有している。<br>・服薬に関して服用時間に複数アラームを設定し、飲み忘れや時間のずれが出ないようしている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | ・定期的、契約時にアレルギー調査票で、必要な情報の共有をしている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 6 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | ・内部勉強会を定期的に行っている。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | |